

## 『基礎コースミクロ経済学』正誤表

2008 年6月 新世社

初版第1刷(2008年6月10日奥付)におきまして、下記の要修正箇所がございました。  
訂正のうえ、お詫び申し上げます。

12頁 下から4行目

(誤) 3年後の1万円の現在価値は  $\frac{10,000}{(1+r)^2}$  (円)

(正) 3年後の1万円の現在価値は  $\frac{10,000}{(1+r)^3}$  (円)

15頁 図1

(誤) 状態1 = 死ぬ

(正) 状態2 = 死ぬ

(誤) 状態2 = 生きる

(正) 状態1 = 生きる

(誤) 状態2の30万円で状態1の4970万円を買う

(正) 状態1の30万円で状態2の4970万円を買う

18頁 注19

(誤) 研究者たちによって、行われており

(正) 研究者たちによって行われており

96頁 図4-5 吹き出し部分

(誤) 価格上昇後の消費点

(正) 所得上昇後の消費点

(誤) 価格上昇前の消費点

(正) 所得上昇前の消費点

97頁 図4-6 吹き出し部分

(誤) 価格上昇後の消費点

(正) 所得上昇後の消費点

(誤) 価格上昇前の消費点

(正) 所得上昇前の消費点

150頁 図6-4 下2つの吹き出し

- (誤) 等量
- (正) 等量線

167 頁 図 6-18

- (誤) 直線\*\*
- (正) 直線  $\ell$ \*\*

277 頁 注 1

- (誤) たとえば, (本来の) 社会的余剰が最大化されているときには,
- (正) すなわち, (本来の) 社会的余剰が最大化されているときには,

280 頁 上から 3 行目

- (誤) 頼らなくても外部経済を内部化
- (正) 頼らなくても外部性を内部化

282 頁 一番上の行

- (誤) A が  $e^A$  単位,  $e^B$  が単位だとする。
- (正) A が  $e^A$  単位, B が  $e^B$  単位だとする。